

歌声を披露するさとうさん(左から2人目)ら(17日、仙台市太白区で)

宗さんら 歌声の贈り物

太白区の施設「青葉城恋唄」など

シンガー・ソングライター さとう宗幸さんら県内在住アーティストが17日、障害者支援施設「太白ありのまま舎」(仙台市太白区)でクリスマスコンサートを開いた。入所者ら約60人に歌声をプレゼントした。

コンサートは、施設を運営する社会福祉法人「ありのまま舎」(同区)が1979年に製作した映画「さとうさんが主題歌を

「宗さんクリスマスコンサート」はありのまま舎が創設以来続けてくださっているコンサートです。任意団体の頃より支援者として活動を応援くださっていた宗さん。当時、山田富也さんが「宗さん、クリスマスコンサートをしてくださいませんか。きつとみんな喜んでくれると思います。」とお願ひしたのが始まりでした。



さとう宗幸さんと庄子眞理子さん

「はじめは自立ホームでコンサートを行っていました。コロナ禍の間はVTRで届けていましたが、対面で届けられてとても嬉しいです。」と宗幸さんよりお話をいただきました。「青葉城恋唄」や「花は咲く」「あ・り・が・と・う・の・歌」など4曲を歌ってくださいました。クリスマスにちなんだ「見上げてごらん夜の星を」「きよしこの夜」など出演者の皆様に全

15曲を披露いただきました。また東日本大震災復興ソングの「虹を掛けよう(宮城)」では手話を使いながら参加者と共に歌いました。出演者の皆さんと距離が近く、温かい歌声が心に伝わり、会場がひとつになり嬉しい時間を過ごすことができました。

宗幸さん、佳生さん、眞理子さん、翼t a s k uさん、マネージャーの久保さんとのご縁に心より感謝したいと思います。ありがとうございました。

仙台エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

12月に毎年恒例のクリスマス会を行いました。ホームの中では大きな行事となっています。早めにクリスマスツリーを飾り雰囲気を楽しむ期間をつくり、当日は入居者の方が集まり食事会とゲームを行いました。皆さんが良く知っているカードゲームをチーム戦で行い、チーム内で協力しながら楽しく行うことができました。そして一年を振り返り、新しい年に向けて気持ちを新たにしました。

それぞれが希望する生活を選択して過ごされることだと思えます。またクリスマス会に合わせて仕事を早めに切り上げて参加したり、今日は休みなので先に床屋に行つてくると朝から出かけられる方など、スケジュールを考えて参加される方もおられ、入居者の方のお気持ちを嬉しく思いました。

(佐藤環)



【ありのまま舎ホームページ】

ホームページのQRコードです。各事業所や出版物の紹介、ご支援いただきたい内容なども掲載しています。ぜひご活用ください。



【仙台市基幹相談支援センター】
一月十六日(金)にサポケアの権利擁護研修を受講し、虐待防止の本質は「質の高い支援」を追求する日々の実践にあることを改めて実感しました。虐待防止を特別な取り組みとして捉えるのではなく、誠実な関わりや意思決定支援の質を高めることこそが、結果としてリスク低減につながるという視点は非常に重要です。

また、表面化した事象だけで判断せず、家族背景や生活環境に潜む要因を丁寧に読み取り、問題が大きくなる前に気づき対応する「予防的視点」の大切さも強調されました。加えて、支援者自身の感情や特性を客観的に見つめる姿勢は、感情的な対応を避け、常にニュートラルな支援を行うために欠かせません。仙台市障害者基幹相談支援センターは、直接利用者を支援するのではなく、相談支援専門員を支える立場にあります。だからこそ、些細な違和感や迷いを一人で抱え込まず、気軽に相談・共有できるネットワークづくりを後押しすることが重要だと感じました。今回の学びを今後の支援に生かし、地域全体の支援力向上に繋げていきたいと思えます。

(鈴木三千恵)

【サポーターケア仙台ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

サポーターケア仙台ありのまま舎は法人内の太白ありのまま舎 亘理ありのまま舎にお住いの方の計画相談業務で、ご本人やご家族様とお話させて頂いております。

先日ある方とそのご家族とお話させて頂いた時のことです。

ご家族から「ご本人の高校の後輩の方が数十年前ぶりに会いたいと連絡があり、面会に来たとのことでした。経緯としては、ご本人が卒業した高校の集まりがあった時後輩の方が、ご本人が現在障害をもち、施設に入居されているということをお聞きしたことから、とのことでした。数十年前ぶりにわざわざ会いに来た理由を、ご家族が尋ねると「高校生の時に私は先輩（ご本人）に大変優しくして頂きました。おかげで今の自分があるのです」との言葉があったそうです。時を重ねても恩を忘れない後輩の方と、当時の後輩の方を支えたご本人、そしてそんな優しさに満ちたご本人を育てたご家族のお話に心が「じん」となりました。

時を越え、時代が変わっても人との関わりがかけがえのないものであること、優しさが人を支え、心の拠り所となることを感じました。そんな思いをもち、日々の業務に努めていきたいと思えます。
（相澤誠一）

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎
【栄養マネジメント】】

当施設では、一月にお正月の行事食として「おせち料理」を提供いたしました。おせちは、季節感や行事を楽しんでいた大切な機会と考えております。障害の特性や加齢の影響により年々嚥下機能が低下し、誤嚥や窒息のリスクが高まることから食事提供においては一層の配慮が必要となります。

お正月料理には、筍やごぼう、蓮根、蒟蒻などが使われています。当施設では、安全にお正月の雰囲気を楽しんで頂けるように調理方法や食材の選択を工夫し、筑前煮に使用するごぼうや



お正月の「おせち料理」



蓮根は柔らかく調理した軟菜食を別途用意し、筍は柔らかい穂先を使用しています。食文化を大切にしながらも、安全性を最優先とし、個々の摂食、嚥下状態に応じた対応を行っています。今後、季節行事を楽しみながら、安心して食事を召し上がって頂けるように努めてまいります。
（阿部里菜）

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

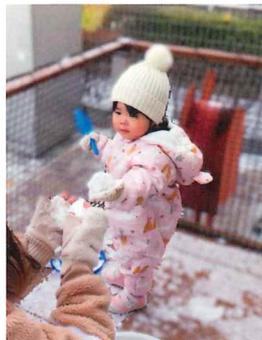
暦の上では春を迎えましたが東北はまだまだ厳しい寒さが続きますね。毎年、早く暖かくならないかなと、本格的な春が待ち遠しい季節です。

子どもたちもお散歩に行きたいというずうずうしいです。先月は風が強く寒さが厳しいため、なかなかお散歩に行けずいました。そのため、室内で体をつかう遊びをして過ごしますが、お散歩に行きたいという気持ちには消化できません。

お迎えの際に、やっとお外に出られるという解放感から、お散歩に飛び出そうとする様子も見られ、子どもは純粹でおもしろいなとつくづく実感します。

月齢が低い頃は体力がなく病気がしやすいですが、月齢が高くなるにつれて、免疫もつき体力もついてきます。その頃から

自我も芽生え、子ども自身の思いもあり、大人と同様に様々な葛藤も生れます。そうなる必要です。適切な戸外遊びの重要性を感じますね。暖かい春を待ちわびながら、今は、天候と気温と相談しながら、少しずつ戸外遊びを楽しみましょう。
（春日麻里）



寒さが控えめな日は戸外遊びを楽しんでいます



レンタカー・カーリースのご用命は



本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100

本 司	店 022-224-0100	卸 司	店 022-237-0100	仙 台 空 港	店 0223-22-0100	新 幹 線 ぐりこま 高 原 駅 前 店	0228-21-2100
交 通 局 前 店	022-221-0100	高 砂	店 022-254-0100	名 取 駅 前 店	022-381-0100	石 巻 駅 前 店	0225-21-7007
仙 台 駅 西 口 店	022-213-0100	鹿 野 2 8 6	店 022-246-0100	新 幹 線 白 石 蔵 王 駅 前 店	0224-22-0252	石 巻 駅 前 店	0225-22-0100
仙 台 駅 東 口 店	022-293-0100	泉 中 央 駅 前 店	022-372-0100	新 幹 線 古 川 駅 前 店	0229-23-0100	気 仙 沼 店	0226-22-0100

新型ヴォクシー（車いす仕様・電動スロープ車）
その他ウェルキャブもラインナップしております。

名取エリア

【サポーターケア名取ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

今月は20代の男性で、知的障害があるMさんとお母様にインタビューをしました。ご本人は現在、生活介護サービスに通所し、様々な作業に取り組んでいます。

①平日の一日の流れ

朝は5時に起きて、タブレットを見ます。6時に起き上がって、朝食を食べます。整容後、8時前に送迎車に乗ります。日中活動後は荷物の片づけを自分で行います。おやつを食べてから睡眠をとります。その後、お風呂に入り、夕食を食べます。下膳は進んでやりませす。自室で自由に過ごして10時頃に寝ています。

②好きなことや押しグッズ

平成から令和にかけての全シリーズの仮面ライダーが大好きです。短期入所利用時に家族が新しいアイテムを準備してくるので、楽しみです。

③これからの目標について

今が一番楽しいです。通所先の作業を積極的に頑張ります。お母様からは、今後も色々なことに触れ、できることを増やしてもらいたいとお話を伺いました。今後もご本人らしい生活が継続できるようにお手伝いしていきたいと思います。

(澤田石裕子)

巨理エリア

【サポーターケア巨理ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

一月二十日（火）に巨理町障害者等地域自立支援協議会で4部会合同研修会がありました。今回、4部会としての合同研修会は初めての開催となりました。

巨理町の災害時の対応について巨理町総務課から「災害から身を守るために」というテーマで、防災マップを活用した内容の講話をいただきました。改めて防災対策や非常持出袋の準備、防災マップの確認が必要であり、何よりも家族の約束事を決めておくこと（家族の集合場所や、避難する場所、高齢の方や小さな子どもがいる世帯は、誰が連れて（迎えに）いくかなど）の大切さのお話がありました。また、防災に関する情報は紙面のみならず、アプリなどでも情報を入手することができます。

私自身、前回の災害から時間が経過するにつれ、災害への意識が薄れているのを感じました。改めて、自宅内でも町の防災マップを確認し、防災対策やグッズの見直しと共に、家族と日頃から話し合い、備えていきたいと思っています。

(大宮朋子)



【サポーターケア奥南ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

利用者様の支援をしている中で多職種連携の重要性を痛感することが多くあります。同じ相談支援従事者や福祉従事者の他にも各地域の医療関係者や行政機関、学校などの教育機関やハローワーク、場合によっては警察、弁護士、不動産会社や一般企業など、その職種は幅広く、いずれも貴重な経験になります。

先日、ある利用者様の支援者が集まり、これまでの支援を振り返り今後の支援の方向性を確認していくケア会議がありました。日々変化する状況にある利用者様を中心に、各専門職の支援者が情報共有を密にしながらそれぞれの支援を行った結果、次の新たな支援課題に移ることができました。私もこの支援の輪の一つの役割を担っていることに責任とやりがいを感じました。また、情報共有の際にある支援者の方から私の業務への労いの言葉をいただいたことがあり、とても嬉しい気持ちになりました。以降は私も同じように支援者に労いや感謝の言葉を伝えるようにしていきたいです。これからも横のつながりを大切に、共に支援ができることに感謝しながら業務連携に取り組んで参りたいと思います。

(根元香奈子)

【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎
（栄養マネジメント）】

私事ですが、この度産休に入らせていただくにあたり、太白栄養マネジメントの皆さんはじめ、巨理での各セクションスタッフへ引継ぎ作業をさせていただきました。

業務を振り返る中で様々な気づきがありました。入居者、利用者の方々目線ではなく、いかに食費を抑えるか、時間内に給食調理しやすい献立か、主菜は様々なバリエーションで考えているが副菜はいつか考えよう：など、いつものまにか仕事に慣れたことにより、自分本位の業務を淡々とこなしていたことを痛感しました。食事のラウンドをすると、入居者、利用者の方々の様々な感想を聞くことができ、リクエストメニューを伝えてくださる方もいらっしゃいます。



去年のクリスマスオムライス (12/25)



松風焼餅ムースおしるこ (1/7)

今後はより献立にメリハリが出るように季節の生果物を入れたり、太白でお出ししている給食のアイディアをいただいたり、食器の種類も少ないので今後太白と比較し検討したいなど、改めて全体を見直すことができた、引継ぎの機会でした。

仕事復帰の際には今一度、客観的に状況を見つめなおし、皆さんが食べたいもの、困っている栄養課題など相手に寄り添う姿勢で向き合いたいと思います。

(渡部海美)

スクラップ

「君とカタルシス」様からのご寄付贈呈が掲載されました。

音楽で難病患者ら支援
**仙台の NPO
 2 団体に寄付**
 設備更新など充当

音楽を通して難病患者・家族らを支援する仙台市の NPO 法人「君とカタルシス」が、太白区の社会福祉法人「ありのまま舎」に 30 万円、宮城野区の見童養護施設「小百合園」に 20 万円をそれぞれ寄付した。チャ



リタイアコンサートの収益などで、ともに設備更新や

運営費に活用される。青葉区のピアノサロン「ルフラン・リュミエール」で 12 日に寄贈式があり、法人の山口慶子代表が、ありのまま舎の白江浩理事長と小百合園の古江和夫園長に目録を手渡した。

白江理事長は「入所する筋シストロフィー患者は病

状が進行すると医療的ケアが必要になる」と説明し、設備の更新などに充てる考え。小百合園は虐待などの問題で来る児童が多いとい

い、古江園長は「メンタル面の回復プログラムに生かしたい」と話した。

眼科医で、ピアニストでもある山口代表は「私たちの活動が入所者や子どもたちのために役立つのならうれしい」と語った。

河北新報 2025年12月17日(水)

「支援頂きありがとうございます。ございました(敬称略)」

【書損しはがき等】

25 12 / 20
26 1 / 26

(東京都) 匿名

(大崎市) 佐々木ゆり子

(名取市) 石川照子

(川尻誠)

【ボトルカンパ】

25 11 / 27

フードマーケット フジサキ

(泉区) 20, 107円

毎回訪れる度に、たくさんのお客様で賑わっており、地域の方々のみならず遠方の方々からも本当に愛されているお店である、と強く思いました。

(鈴木一彦)

【バザー開催日のご案内】

《2026年3月》

3日(火) コークベニマル山田鉤取店

5日(木) ヨークマルシェ大和町店

10日(火) ヨークベニマル南吉成店

12日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちぼ

17日(火) ヤマザワ茂庭店

24日(火) 袋原(向日葵ライブ

サポートセンター)

26日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちぼ

28日(土) ありのままショップセル

(仙台ありのまま舎)



素敵なクリスマスカードとお花をいただきました

昨年12月、東北学院榴ヶ岡高等学校の皆様よりクリスマスカードとお花を頂戴しました。とても華やかな素敵なアレンジメントをありがとうございました。

フラワー 虹の丘本店は新店舗にて元気に営業中！

スマホで簡単予約♪
モバイルオーダーはじめました→



ご来店やドライブスルーでお受け取りのご注文をスマートフォンで簡単にご予約いただけます！

FLOWERED
 花のフラワー

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-14-1 TEL022-375-4411
 泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
 北仙台店 仙台市青葉区昭和町5-42 TEL022-728-4411

「ありのまま会後援会(敬称略)」

25 12 / 21
26 1 / 5



【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

11月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 943円

ありのまま会(自立ホーム・太白ありのまま会・サポートケア

県南・巨理ありのまま会)

5,897円

◆株式会社ミチノク

25 10 / 12月分売上

日下亜弥 1,400円

巨理ありのまま会

6,546円

「協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区仙台広瀬河畔教会と、仙台青葉荘教会婦人会の皆様にご協力をお願いしながらお手伝いいただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様にご協力をお願いいたします。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいております。シヨップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま会】

茂庭台ボランティアグループの皆様や、宮城県車いすダンス協会様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策に気を付けながら、活動を進めていきたいと考えております。

年度末が近づき慌ただしい時期ですが、皆様のご協力で心より感謝し、元氣をお届けできるよう引き続き努めてまいります。どうぞよろしく願いたします。(遠藤寿子)

「ありのまま会運営協力寄付金(敬称略)」

25 12 / 2 / 12 / 17

